

伝えよう!

ニセ電話詐欺の手口と対策

オレオレ詐欺

息子や孫の名前をかたって現金をだまし取る。

よく使われるキーワード

風邪を引いて声が変わった
携帯の番号が変わった



いつもの番号に電話して本人にもう一度確認する。

息子の同僚や友人など、知らない人にはお金を渡さない。

還付金詐欺

戻ってくるお金があるとつい現金を振り込ませる

よく使われるキーワード

税金や医療費を払い戻すATMに行って



役所の電話番号を調べて確認する。

ATMを操作してお金が戻ってくることは絶対にありません。

架空請求詐欺

架空の費用名目で請求し、現金をだまし取る

よく使われるキーワード

名義を貸してサイト料金が未納



慌てずに家族や警察に相談してください。

宅配便やレターパックでお金を送ることはできません。

防犯対策 1 家族で話し合う

合い言葉を決めておく。電話では、お金の話をしないと決めておく。



防犯対策 2 電話機能で防ぐ

留守番電話や事前警告・通話録音電話機(装置)を活用する。



防犯対策 3 地域で声を掛け合う

周りの人が注意喚起や声かけを行い、被害を未然に防ぐ。



家族の絆、地域の力 ひと声かけて被害ゼロ

ニセ電話
気づかせ隊による
阻止事例

携帯電話で通話しながらATMに向かう高齢者が慌てていたことから声をかけ、「還付金がある」という理由を聞いてニセ電話詐欺と判明。

(小郡市のスーパーにて、阻止者:警備員)

訪問介護中にかかってきた電話で、高齢者が息子の名前を呼んでいたことから電話の内容を確認し、「株で失敗した」などがあつたことからニセ電話詐欺と判明。

(北九州市の被害者宅にて、阻止者:介護士)

高齢者が携帯電話で通話しながらATMを操作していたことから声をかけ、「払戻金がある」という理由なのに振込手続だったのでニセ電話詐欺と判明。

(福岡市のスーパーにて、阻止者:通行人)

高齢者が犯人の指示により喪服姿で「不幸事があつた」と言って定期預金の解約を申し出たが、高額であつたことからニセ電話詐欺と判明。

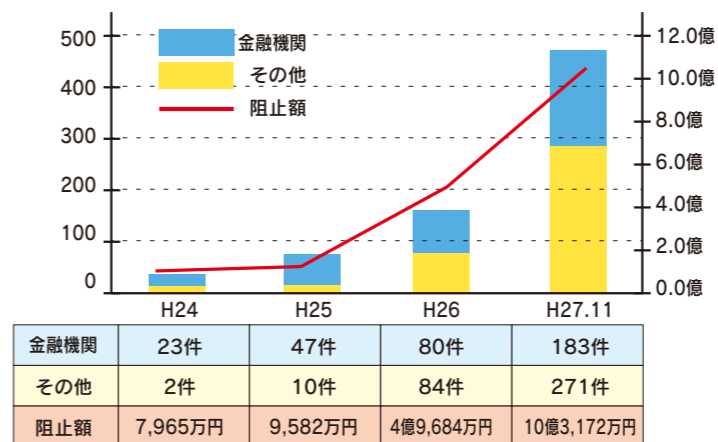
(中間市の銀行にて、阻止者:銀行職員)

高齢者が大量のギフトカードを購入しようとしたことからニセ電話詐欺と判明。

(直方市のコンビニにて、阻止者:コンビニ従業員)



阻止件数の推移



全体の阻止件数が、昨年比で、大幅に増加しています。

本年中の阻止件数(11月末累計)

- 金融機関職員……183件
- その他の方……271件

家族、通行人、公務員、コンビニ店員、知人・友人、タクシー運転手、病院職員、配送業者、警備員、介護士など